

-----5月18日-----

今週のアウトルック（5/18～5/22）

先週は少しずつ円高が進む展開となりました。
ドル円のサポートとされていた98円から97.5円あたりを抜けると一気に95円割れまで進みました。
EU関係のマクロ指標悪化の発表も後押しした感じです。

今週も全体的には景気回復見込みの信憑性と、米国、EU各国の財政状況などを見極めながらの展開となりそうです。

ドル円は週初めから94.5円割れにトライする展開が続いています。95円ラインがかなり弱いものになっているようですので、94円を割って93円から90円あたりまで一気に進んでしまう可能性が少し高くなっているように思います。

日経平均も9000円割れ目前です。ここを割って、8500円あたりを目指す展開になってしまうと、ドル円も下落する可能性が一層高まりそうです。

ユーロ円は134.5円あたりの高値を付けてから、利益確定、リスク回避などの状況から下落傾向が強くなっています。特にドイツ、EU全般のマクロ指標の悪化が後押ししているように思います。

今週もリスク回避傾向は続くように思います。特に押し上げるような要因があまり見当たらないことから、ジリ安、あるいは節目となるポイントを抜けると、一気にユーロ安が進んでしまう可能性もあるように思います。

ポンド円ももみ合いながらも少しずつポンド安が進むような展開になっています。マクロ指標的には改善を示す内容が多く、政府要人の発言にも明るいものが増えてきたようにも思うのですが、実際のポンド円の動きはそのようになっていません。

英国の財政状況などにも、市場の関心は向いているのかもしれませんが。

今週もユーロ円と同じような展開を予想します。

リスク回避的な動きからもみ合いながら、結果的に少しずつポ

ンド安が進むような状況を考えています。

マクロ指標の改善より、英国財政状況の悪化に関する報道には、より一層注意する必要があるように思います。

今週は一段下にさがるような円安傾向を考えています。ドル円の92円から95円あたりまでのレンジに合わせたレベルまで、ユーロ円、ポンド円なども下落してもおかしくないように思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。